

事務事業名		新産業クラスター事業		会計		一般会計		事業種別		政策		開始		14		終了				
課等名		工業課		係等名		工業振興係														
基本計画上の位置づけ		政策		1		多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり														
		施策		13		新しい力による新しい産業づくり														
目的	対象(誰・何を)		クラスター形成を目指す意志のある企業																	
	意図(どういう状態にするか)		成長性の高い産業分野(航空機産業等)のクラスターを形成することで、地域経済の安定成長をねらう。																	
	向上させたい上位施策の成果指標		粗付加価値額 飯田下伊那 (億円)																	
						指標名及び単位		24年度数値												
						三遠南信クラスター推進会議南信州地域登録企業数(社)		89												
						航空宇宙プロジェクト参加企業数		36												
目標	種別		指標名及び単位		24年度計画		24年度実績		25年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)							
	成果指標		航空機部品の共同受注件数		60		66		60		60									
	成果指標		航空機部品出荷額(PJ分 多摩川精機を除く)(億円)		7		7		8		10									
定性目標																				
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ・新産業分野の参入を目指す企業を中心にテーマ別プロジェクトの立ち上げと共同受注及び共同開発の活動を支援する。 ・企業OBによるコーディネーターを配置する。 ・航空宇宙産業クラスターの形成を目指し、航空機部品受注のために要求される課題解決に向けプロジェクト及び4つのワーキングチームの活動を重点的に支援する。航空宇宙プロジェクト 参加企業36社 ワーキングチーム ①共同受注チーム②QMSチーム③ソフトチーム④加工チーム ・健康長寿社会への対応を進めるため、メディカルバイオクラスター形成を目指し、協議会を立ち上げ、運営を支援する。 																		
		事業内容		名称		活動指標														
24年度事業内容		1 航空宇宙産業クラスターの形成支援 (1)プロジェクトに対する活動支援。 (2)ワーキングチームの活動支援。 (3)国内外の航空機メーカー及びTier1・2企業を中心とする受注営業支援。 (4)中核人材の育成支援。(特殊工程セミナーほか) (5)各種フォーラム・シンポジウムの実施及び他地域への参加。 (6)特殊工程のハード整備体制の強化支援 2 メディカルバイオクラスターの立ち上げと運営支援。【24新規】 (1)準備会の開催、(2)シンポジウムの開催 3 環境産業マイクロ水力発電システム実証事業の実施。 4 コーディネーター2名配置による相談支援。		1 (1)PJ会議回数 (2)WT会議回数 (3)受注営業回数 (4)人材育成支援回数 (5)セミナー等参加回数 2 研究会開催回数		1 (1) 6回 (2) 29回 (3) 12回 (4) 34回 (5) 3回 2 2回														
事業コスト		23年度決算額		24年度予算額		24年度決算額		25年度予算額		特定財源内訳、補足										
事業費計(千円)①		5,021		6,500		6,500		60,739		緊急雇用創出事業										
国庫支出金																				
県支出金		4,698		5,500		5,500		5,459												
起債																				
その他																				
一般財源		323		1,000		1,000		55,280												
人件費計(千円)②		3,899				3,899														
正規職員所要時間		1,000				1,000														
臨時職員所要時間		300				300														
総事業費①+②		8,920		6,500		10,399		60,739												
事業内容・目標達成状況の振り返り		航空宇宙産業のクラスター形成については、プロジェクト活動を中心に、顧客開拓・人材育成支援を行い、エアロスペース飯田の共同受注実績は確実に伸びており、一括発注により部品点数は約870点/年と飛躍的に増えている。医療産業については、メディカルバイオクラスターの組織立ち上げ準備を、産官学連携により進めることができた。																		
改革改善の考え方		<p>①問題点 新産業への挑戦は行政も積極的な支援を行う必要がある。圏域で完結できる製品開発となるよう広域的な取り組みを展開されたい。(市議会産業経済委員会より)</p> <p>②改革提案 圏域で製品(半製品含む)完結するためには足りない技術・設備の補完が必要であり、民間による設備導入の動きに合わせて、貸工場という新しいツールを活用して整備支援する。</p>																		